

令和6年度健康長寿ふくしま会議

「第三次健康ふくしま21計画の推進に関する各団体の取組実績と取組方針」

NO	団体名	主な取組実績と次年度の取組方針
1	福島県	重点スローガン「みんなでチャレンジ！減塩・禁煙・脱肥満」の下、減塩の推進に向けた企業等との体制強化、学校や関係機関と連携した禁煙・受動喫煙防止対策、ふくしま健民アプリによる適正体重を目指すキャンペーン等を展開した。次年度はこれらの取組に加え、特に、人口減少対策も見据えた「女性の健康づくり」の取組を強化していく。
2	公立大学法人福島県立医科大学	県民の健康寿命の延伸と健康格差の縮小に向け、福島県版健康データベース(FDB)による県民の健康状況の「見える化」や地域課題分析を実施するとともに、保健福祉事務所や市町村の人材育成のための研修を実施し、県や市町村の健康増進対策の支援に取り組んだ。次年度も取組を継続し、笑顔あふれる健康長寿ふくしまの実現に寄与する。
3	一般社団法人福島県医師会	重点スローガンである「減塩・禁煙・脱肥満」のテーマに基づき、県民向け講演会を開催するなど県民に対し、広く啓発活動を行っている。特に禁煙については、Tobacco-freeふくしまと協同で受動喫煙防止対策に取り組んでいる。次年度はこれらの取組を更に会員へ徹底し、日常診療の中においても、県民への啓発活動に努めていく。
4	福島県商工会議所連合会	健康経営の積極的な推進により、県内商工会議所に加入している会員事業所に従事する役員及び従業員の健康づくりの増進に努めた。次年度も健康寿命の延伸と健康長寿県の実現に向け、健康経営の推進に努める。
5	福島県農業協同組合中央会	健康寿命の延伸を目指し、県内各地のJAで組合員や地域住民を対象に、「運動」「食事」「健診・介護・医療」の3本柱に「いきがい、ゆとり、社会参画」の活動を実施しており、今年度で14年目となる。次年度についても継続して取り組んでいく。
6	福島県商工会連合会	「誰もがすこやかにいきいきと活躍できる笑顔あふれる健康長寿ふくしまの実現」に向け、ふくしま健民アプリの周知・利活用促進に努めた。次年度も引続き取組むとともに、特に小規模事業者の「健康経営」導入支援を強化していく。
7	福島県中小企業団体中央会	生産性の向上や従業員の活力を高める「健康経営」の研修会を実施し、職場の健康増進について意識の啓蒙を図った。人手不足が深刻化する中、従業員の健康は重要な経営資源となっていることから、来年度は、会員組合や傘下事業所に対して機関紙やホームページにより「健康経営」の情報を積極的に発信し、健康づくりに対する意識の高揚を図り、「健康経営」の取組を推進する。
8	福島県経営者協会連合会	会員事業所に対して現状(平均寿命・健康寿命、健康指標の状況等)を資料配布およびホームページ掲載等により周知し、会員事業所が健康指標の改善に努力したことが、福島県の健康寿命の延伸に少しでも寄与したものと推察する。改善重点項目が早くワーストテンから脱却するよう、本年も会員事業所に対して現状等を資料配布およびホームページ等により周知し健康指標の改善を図りたい。
9	日本労働組合総連合会福島県連合会	いきいきと生活できる活力ある福島県とするため、連合福島構成組織、地域・地区連合と連携しながら重点課題である「肥満・食塩・喫煙」等の健康指標の改善を図れるよう、県の健康づくりに関する各種イベントや情報を提供するなど、健康寿命の延伸に寄与する。

NO	団体名	主な取組実績と次年度の取組方針
10	独立行政法人労働者健康安全機構 福島産業保健総合支援センター	重点課題であるメンタルヘルス対策等(両立支援含む)を始め、生活習慣予防等(食・運動)について、セミナー・研修会・講師派遣等を展開のうえ、健康管理の周知広報に務めた。また、喫煙率減少については医師会等関係機関と連携のうえ対応した。次年度も上記課題を継続的に進めていく。
11	福島県国民健康保険団体連合会	国保保険者及び後期高齢者医療構成市町村が第3期データヘルス計画をPDCAサイクルに沿って着実に保健事業を実施できるよう、支援評価委員会や研修等各種事業を通して支援した。次年度も保険者等が生活習慣病発症・重症化予防に繋がる保健事業を効果的に実施できるよう、改善・見直しをしつつニーズに沿った支援を強化していく。
12	全国健康保険協会福島支部	福島県版健康データベース(FDB)を始めとするデータ分析により、抽出した健康課題に対し解消に向けた重点的な取り組みを行っており、今年度は関係団体と連携し、福島市・郡山市の2か所でメンタルヘルスセミナーを開催した。次年度は、禁煙・減塩にスポットをあて、オール福島として取り組みを強化していく。
13	健康保険組合連合会福島連合会	健保組合は従来通り事業主と連携を図り、加入者の特性にあわせた保健事業を実施し、健康寿命の延伸に貢献していく。本年スタートの「第3期データヘルス計画」や「第4期特定健診・特定保健指導」を着実に進め、人生100年時代にふさわしい医療DXを活用しながら保険者としての役割をより一層強化し、先駆的な取り組みを実践していく。
14	一般財団法人福島県社会保険協会	会員の「健康で豊かな生活」を目指し、「職場からの健康づくり」を推進するため、ウォーキング大会の開催、保健師や実技指導講師の派遣、各種講習会の実施などに取り組んでいる。また、県の「健康ふくしまポータルサイト」を積極的に活用し、「減塩・禁煙・脱肥満」などの健康指標の改善を通じた健康づくりと福利増進事業を推進する。
15	公益社団法人福島県歯科医師会	乳幼児期から学齢期はフッ化物応用等によるう蝕予防対策の推進、青年期は歯周病の予防・早期発見のため歯科健診の機会拡大と定期的な受診について普及啓発、高齢期は口腔機能の維持向上のためオーラルフレイル対策の推進等、市町村や関係機関と連携し、ライフステージに応じた歯・口腔の健康づくりに資する取組を推進する。
16	一般社団法人福島県薬剤師会	薬と健康に関する市民講座への薬剤師の派遣を行い、「適正な医薬品使用(薬物乱用防止含む)」及び「重複投薬・ポリファーマシーによる健康被害防止」に向けた啓発活動に努めた。また、在宅医療の推進に向けて研修を実施するとともに、認知症対応薬局の普及促進に向けた事業を実施した。今後これら事業を継続し、県民の健康保持増進に努める。
17	公益社団法人福島県看護協会	地域包括ケアシステム推進のため看護機能の強化に努める。長年取り組んでいる「まちの保健室」の活動を、今年度は三師会を始め医療関係団体(栄養士会、理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会等)との連携を強化したところであり、地域の健康課題に取り組んでいく。また、「訪問看護支援センター」を設置し、地域の課題解決に向け総合的に支援を図る。
18	公益社団法人福島県栄養士会	栄養相談の地域拠点となる認定栄養ケア・ステーションの設置数を9ヶ所に増やし栄養・食生活支援のための体制の充実強化を図った。次年度も食と栄養に関する専門的な支援を実践し、もって県民の肥満改善、減塩への取り組み、生活習慣病の発症・重症化予防及びフレイル予防を推進し、健康長寿を目指す。
19	福島県市長会	令和6年3月19日開催の副市長会議において、麻しん・風しん及び子宮頸がん予防のためのワクチン接種について県感染症対策課よりその実施状況や取組等について説明を受け情報共有を図った。第三次健康ふくしま21計画に係る適時・適切なPDCAサイクルの実行を踏まえ、適宜首長間の情報共有を図る。

NO	団体名	主な取組実績と次年度の取組方針
20	福島県町村会	「健康長寿ふくしま」の実現に向け、引き続き 県の健康づくりに関する各種イベントや情報を町村に提供するなど、健康寿命の延伸に寄与する。
21	厚生労働省福島労働局	誰もが健康に働くことができる職場環境の実現に向け、福島産業保健総合支援センターや医療保険者等との連携を密にしながら、労働安全衛生法に基づく健康診断やメンタルヘルス対策の促進並びに治療と仕事の両立支援の取組を推進した。次年度も同様の取組を推進して、労働行政の総合的機関としての役割を果たし、もって県民の健康増進に寄与することを目指す。
22	国立大学法人福島大学	多世代にわたる健康増進、体力向上を目指し、高齢者への運動教室や誰もが参加できるスポーツイベントを実施してきた。また、被災地でのスポーツイベントでは、学生が福島県の課題に対する意識を持ち、実践を通して社会性、生涯スポーツの重要性について学ぶことができた。次年度も引き続き、社会課題と健康との関連性を的確に捉え、解決できる人材育成を目指していく。
23	福島県学校保健会	〈主な取組〉・学校保健に貢献した個人及び団体の表彰 ・学校保健資料の周知 ・各支部での講習会(学校保健関係者の資質向上) ・会誌の発行 〈方針〉学校保健に関する事項を研究協議し、その普及・発展を図ることで、児童生徒の健康及び学校における健康教育、健康管理に寄与する
24	福島県PTA連合会	「学校」「家庭」「地域」が連携し、ボランティア活動・体験活動、世代間交流の促進など、子どもたちが社会に関わることができる機会の大切さを研修等を通して啓発に努め、健康で幸せに暮らせる社会づくりに貢献する。
25	福島県食生活改善推進連絡協議会	県の食の基本推進事業と連携し、各市町村において健康課題の減塩、栄養バランスのとれた食事、世代ごとの食生活、および改善、食文化、郷土料理などを家庭の中から、そして地域へと社会参加も含め活動していく。
26	公益財団法人福島県スポーツ協会	県民の誰もが、豊かなスポーツライフを創造できる「生涯スポーツの実現」を目指して、各関係組織・団体と連携し、県総合スポーツ大会やスポーツ体験教室、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会などを開催し、生涯スポーツの推進に努める。
27	福島県スポーツ少年団	「健やかでいきいきと生活できる社会」を目指し、指導者の養成に努め、子どもからお年寄りまで安全に安心して、継続的にスポーツに取り組む環境を整備するとともに、多くの団体と連携を図りながら、地域社会で生涯に渡り子どもたちがスポーツに取り組む習慣を育成する。
28	特定非営利活動法人福島県レクリエーション協会	健康スポーツを柱とした「ふくしまレクリエーションフェスタ」の継続開催と、高齢者の元気づくりを目指した「健康スポレク広場」の開催拡大を図ることはできた。一方、福島県が主催する事業へ参画は期待されなかったことから、次年度に向けて、当会議からも期待いただけるような、実力のある組織づくりを目指したい。
29	福島県健康を守る婦人連盟	本連盟では行政や関係団体が実施する保健衛生事業への参画や、疾病予防の知識習得のための健康集会を開催し、会員の健康意識の向上を図った。また、乳がん・子宮がん検診の受診勧奨を目的としたキャンペーンを実施し、県内全域の健康づくりの推進に寄与した。次年度は取組を継続展開することで地域における健康情報発信に努めていく。

NO	団体名	主な取組実績と次年度の取組方針
30	公益財団法人福島県老人クラブ連合会	私たち老人クラブの目的は、「健康、友愛、奉仕」である。そのうち「健康」については、「第三次健康ふくしま21計画」に則り、ニュースポーツの普及等を通じ、脱肥満・減塩・禁煙を目指し「健康づくりの一翼を担っていく。」
31	株式会社福島民報社	「地域づくり会社」をスローガンに掲げ、「産業づくり」「人づくり」「健康づくり」を推し進めている。SDGsの実現に向け、県内の団体や大学、企業、行政機関などと「ふくしまSDGsプロジェクト」に取り組んでいる。健康づくりの取り組みはSDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」につながる。主催事業や紙面を活用し、県民の健康づくりに役立つ情報発信に努めていく。
32	福島民友新聞株式会社	県内各地でウォーキングイベントを開催したほか、フレイル予防をテーマとした紙上企画「みんな健康キャンペーン」の展開、健康に関するさまざまな報道を通して、県民の健康意識向上を図った。次年度も健康指標の改善や意識向上に寄与する情報発信やイベントを行う。
33	福島テレビ株式会社	「テレポートプラス」「サタふく」「キビタンGO！」等の自社制作番組において、健康づくりに関する話題を放送し、視聴者の健康意識の増進を図る。散歩コーナーでお馴染み「浜ちゃん」こと浜中アナウンサーの楽しいウォーキングイベントの実施。自社では健康相談の呼びかけ、敷地内の全面禁煙、階段利用の促進など、身近なところから健康づくりに取り組む。
34	株式会社福島中央テレビ	「ゴジてれChu！」など自社制作番組を通して県民の健康づくりに役立つ様々な情報発信を行った。また地元企業などとも連携し、福島の食材や健康をキーワードにしたオンライン親子料理教室など各種イベントも実施。次年度も健康づくりに役立つ情報発信に番組、県や市町村、関係団体とも連携したイベントを通して取り組む。
35	株式会社福島放送	SDGsの趣旨を県民に広く浸透・普及させる一環として、他の都道府県に比べて多い「高血圧」に着目。番組での減塩レシピの紹介や啓発CMの放送に加え、イベントやフォーラムの開催により、高血圧を予防・改善できる情報を発信するなど、県民が健やかに暮らせるための取り組みを継続する。
36	株式会社テレビユー福島	スローガン「みんなでチャレンジ！減塩・禁煙・脱肥満」を広めるため、ニュース番組やイベントなどで専門家が勧める健康法を発信する。減塩の工夫や禁煙のコツ、肥満対策として県民の健康習慣を紹介し、健康への関心を高め、実践しやすい環境づくりを目指す。
37	株式会社ラジオ福島	ラジオ福島で展開中の『命を守るキャンペーン』は来季も継続して展開をPYと呈している。「防災」「交通安全」「防犯」「健康」の4つを柱としており、毎週月曜日に放送しているキャンペーン番組の第4週のテーマを『健康』として健康づくりや感染症対策などを紹介、ラジオを通し情報を発信し県民の健康づくりを応援していく。
38	チャレンジふくしま県民運動推進協議会	今年度より、チャレンジふくしま県民運動の新たな取組として、「ふくしまアートウォーキング」を開始し、各種イベント、キャンペーンを展開した。次年度も引き続き、協議会に参加する官民54団体が連携しながら、「ふくしまアートウォーキング」等、一人ひとりの心身の健康に向けた実践を通して、「人も地域も笑顔で元気なふくしま」の実現を目指す。